

現地実習Ⅱ

森林の調査と整備（広葉樹林）

日時：平成20年10月25日（土） 10:00～15:00

講師：あいち海上の森センター職員・海上の森の会

概況



午前は、センター研修室およびセンター駐車場で森林調査実習をおこない、午後には、実際に森に入り広葉樹林の除伐整備をおこないました。

【森林調査実習】

前回の作業をふまえて、安全な作業方法について林業労働災害の実例をもとに説明を受けました。平成20年に発生した死亡災害のほとんどが、伐倒した木が他の木にかかってしまうかかり木に関するもので、かかり木になったときの対処方法などを学びました。また、「無理せず、疲れたらすぐ休む」などの安全管理11箇条について確認しました。前回行なった毎木調査のデータから、森林がどれだけ混み合っているかの指標としての胸高断面積合計を算出しました。その後、センターの駐車場に移動し、樹高測定実習を行ないました。三角比を用いて目測から樹高を算出する簡易測定板を使用したり、測桿棒を用いての実測や測量ポールを用いての目測など3種類の樹高測定方法を実習しました。

【森林整備実習】

前回に引き続き、2組に分かれセンター前の広葉樹林の整備を行ないました。職員による作業内容の説明の後、小径木の除伐や枯死木の伐採、ササの引き抜き作業に汗を流しました。